ゼロメートル防災講座(会場・オンライン併用)

~能登半島地震の現場から学ぶ、災害のリアル~

もし、大きな災害が起きたら…

■ 被災したら、行政 や自衛隊が助けてくれ るはずだ。救援物資も すぐに届くんだろう? 待っていても、本当に必要なものが届くとは限らない。特に、助けをうまく求められない『災害弱者』と呼ばれる人たちの命を救うには、私たち自治会が動くしかないんだ。でも、『どうすればいいかわからない』では困ってしまうな…

現場はマニュアル通りにはいかない

避難所では何が必要なの? みんな『何が欲しい?』『どうしてほ しい?』って聞いても、うまく答えられ ない人がいるって言うし。

健康な人には想像もつかないような、 本当のニーズを知りたいな。 プこの講座では、能登半島地震の現場で活動された防災看護師の山中弓子先生から、災害の『当たり前が通用しない現実』を教えてもらえるらしいの。

仮設トイレの工夫や、栄養のある食事など、本当に必要なことを現場の経験から学べるそうよ。

真価が試される「助け合い」のヒント

被災地の本当の情報を知るには、 テレビや新聞だけじゃ足りないんだ って。

現地の専門家が、声なき声を聞き 出して問題を解決してきた『リアルな 情報』を知ることが、本当に大切なん だ。 その通り。物理的な備蓄はもちろんだけ ど、日頃から災害に備えた情報共有や、『顔 の見える関係づくり』がいかに重要か、その真 髄を学べます。

今こそ、災害に対する意識を『ぼーっとしてない』状態に切り替える時です!

ぜひ、一緒に災害のリアルを学び、今できる備えを始めませんか?

- 日時: 令和7年11月1日(土)18:00~20:00
- 場所: 弥富市総合福祉センター 多目的研修室 または オンライン(Zoom)
- 講師: 防災看護師 山中氏(防災看護師、防災士、てとめっと代表)
- 対象: 弥富市民、自治会や防災会の役員、防災ボランティアリーダー、看護師、保健師、 介護士、行政職員など、防災に関心のあるすべての方
- 主催:弥富防災・ゼロの会
- 後援:弥富市
- 参加費:無料(申し込み不要)※可能な方は HP から事前登録お願いします
- オンライン参加は事前登録必要 HP 弥富市防災情報(弥富防災・ゼロの会)
 https://yatomi-bousai.info/ からご登録後 Zoom の情報を送ります



詳しくはホームページ https://yatomi-bousai.info/からもご覧いただけます

災害看護の専門家から学ぶ、本当の「備え」

今回は、能登半島地震発災直後から現地で活動されている「てとめっと災害支援チーム」のリアルな写真や連携の仕組みを交えながら、現地の状況やその活動の心について、 具体的な事例を交えながらお話しいただきます。

マニュアルにはない<mark>「災害のリアル」を知り、物理的な備蓄だけでなく、事前の情報共 有や「顔の見える関係づくり」</mark>がいかに重要か、その真髄を学ぶ貴重な機会です。

この講演会は、弥富市やゼロメートル地帯の福祉・教育関係者、地域活動に携わる 方々、そして防災に関心のあるすべての方にとっても、大きな気づきとなるでしょう。ご 自宅からお気軽にオンライン(Zoom)での参加も可能です。

講師紹介:山中 弓子 氏(防災看護師、防災士、てとめっと代表)

1968年神戸市生まれ。阪神淡路大震災以降、親子支援・災害看護支援に尽力。東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨災害など、数々の現場で避難所運営支援や地域支援、防災活動に従事されてきました。

弥富防災・ゼロの会の活動について

私たちは、「海抜ゼロメートル地帯」における自然災害(台風、高潮、地震、津波など)への備えを強化し、災害関連死を含めた死者ゼロの実現を目指しています。

この目標達成のため、行政と住民が連携し、日頃からの「顔の見える関係づくり」を通じて、被害を最小限に抑え、迅速な復興を可能にする地域社会を築くことを使命としています。

この使命を果たすため、私たちは 21 年前に結成されて以来、防災に関心を持つボランティアが、行政や地域の人々、様々な組織・団体と連携し、そのつなぎ役として活動を続けてきました。

- <mark>地域のリスク理解と関係構築</mark>: この地域の災害対策や災害リスク(例:排水機場や 堤防の状況)を実際に視察し、学習。 関連する行政やライフライン、インフラな どの管理担当者との連携を深めてきました。
- **家庭・自治会レベルでの備えの支援**: 各家庭での防災備蓄や対策の啓発。 自治会が 実施する防災会活動の支援。 ライフライン途絶時(水など)の応急給水訓練をは じめとする対応策の検討と普及。
- <mark>地域内のネットワーク構築</mark>: 防災に関わる様々な組織、団体、 個人との連携を促進し、地域全体の防災力向上に貢献。